

教育は誰のものか

【格差教育編】

監察官を派遣して
国のカリキュラム通りに
やられているか



徹底的にチェック
するのだ！

日の丸君が代
完全実施かあ？

自虐史観を
教えていねえか？



落ちこぼれは実直な
精神だけでいいぞ！

水準に達していない
学校は

容赦なく廃校か
民営化だあ！



通う学校が
なくなっただじやないか

どこが美しい国よっ
ふざけないで！



教育基本法改悪反対！

このマンガは
一部は実際に学校で起こっていることであり
教育基本法が改悪されれば
もっと悪化するであろうであろう出来事です



「てきん者は
できんままで結構」

「非才、無才にはせめて
実直な精神だけを」

三浦朱門
(元文化庁長官・教育課程審議会会長)
(斎藤貴男『機会不平等』より)



わーお
できたの
やったね

すごい、ユキちゃん
私これから頑張って
絵を描くね

どうしたの？ユキちゃん
浮かない顔して

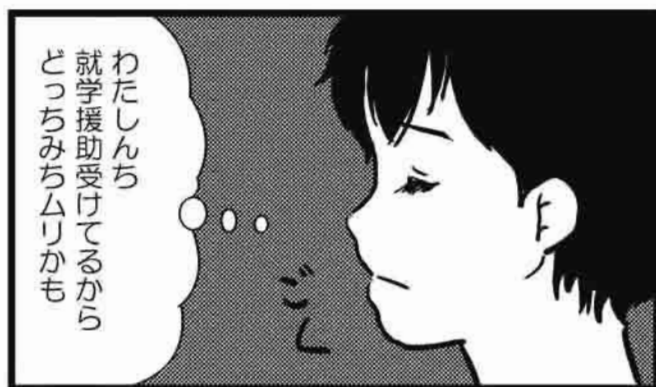
ナカちゃん
私一緒に中学に
行けないかも

中学に行っても一緒に
マンガ作ろうって
言ってたじゃない

どうして
ユキちゃん

お母さんがね
A中学に入学
しなさいって言うの

あんな遠い中学に？
Z中学なら
家のすぐそばなのに



コラム 【学校選択制と全国学力調査】

来年度から文部科学省によって全国学力調査の導入が目論まれています。その「調査」結果は公表され、予算の配分・人員配置を優遇することにより、学校を競争させようとしています。

その結果何が起ころのでしょうか？

東京都では既に一斉テストが学区制廃止と学校選択制とセットで実施されています。その結果、成績上位校と言われる学校には新入生が集中し、他方荒川・文京・墨田区では新入生ゼロの学校が生まれ、統廃合の危機にさらされています。

ここには教育予算を「効率的」に使いたいという意図が露骨にあらわれています。削減された予算を成績上位校に投入し、その他の学校の、つまりは「できん子ども」を切り捨てようというものです。

低所得者層の多い学校は予算も少なく教員も少なく、統廃合も進めて学校そのものの数を減らし、「せめて実直な精神だけ」というわけです。



この校区の子ども
よそに出ていって
だいぶ減っちゃったね
ユキちゃんも……

そう
引越すかもしれないって
お父さんが言ってた……
この辺は荒れてきて
環境が悪くなったからって

コラム【就学援助と格差拡大】

小泉「改革」によって日本は格差が拡がり、困窮家庭が増えました。

公立小中学校で文房具代や給食費、修学旅行費などの援助を受ける児童・生徒の数が04年度までの4年間に4割近くも増え、受給率が4割を超える自治体もあります。

最も受給率が高いのが大阪府で27.9%、続いて東京都の24.8%全国平均でも1割強になります。

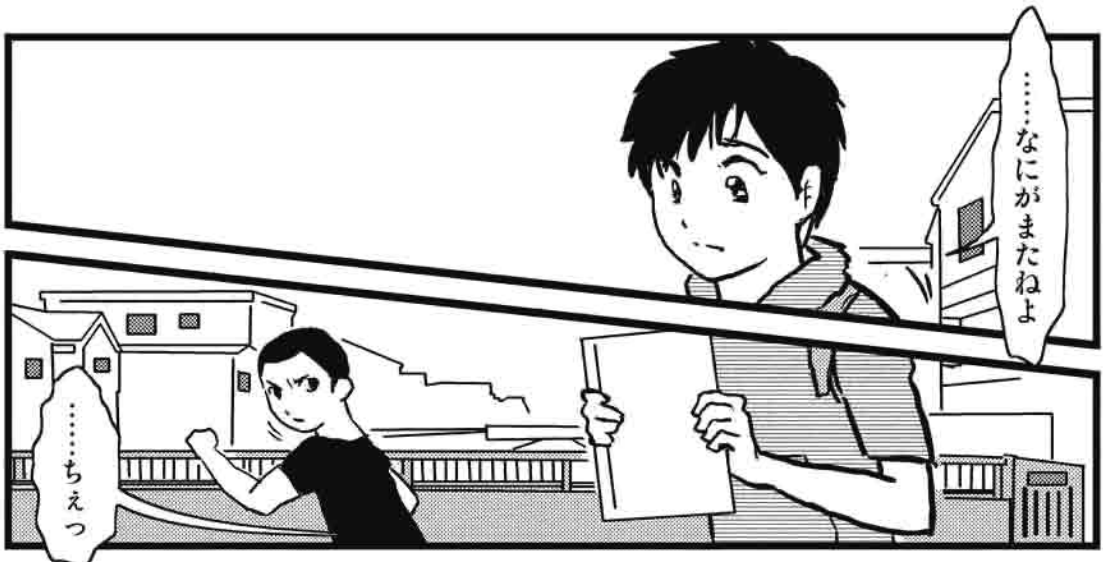
この背景にはリストラや給与水準の低下、不安定な雇用形態の増大などがあることは言うまでもありません。

東京都足立区には、受給率が7割にも達した小学校があります。鉛筆の束や消しゴム、白紙の紙を用意して授業に臨む教員もいるそうです。

高校でも授業料減免・免除を申請する生徒が増えています。大阪では24.6%、全国では8.8%にものぼります。

一方、大学生活にかかる費用は年150～250万円。東大生の親の平均年収は1000万円を超えています。子どもの「能力」は、塾に通わせるなど、親の潤沢な収入なしには成り立たなくなっています。低所得者層に生まれれば、大学に通うことは実際かつてなく困難になっています。

「教育の機会均等」というのは既にお題目にしか過ぎません。





でもそうも
言ってられない

校長も教育委員会も
不登校児や問題児は
登校しない方が
ありがたいというのが
本音でさ

学校のランキングが
下がるから？

できない子は
切り捨て
伸びる子だけ
ひいきするのが
出世のコツ
なんだと

……もう遅いよ

じゃあ先生も
こんなことしたら
ダメじゃん

今年度いっぱい
クビになった

岡みないのを
ほっとけない教師は
「ダメ教師」なのさ



じゃあ政府がきめつけた
「でん子」には
誰が責任を持つんだ?!

たださえ
できる学校には
予算がつき
加配の教師がつく



子どもに
聞かせる
話じゃ
なかったな

仲里
ごめんな

コラム【教員の評価システムと免許更新制】

たとえば大阪では、6月、教職員評価・育成システムによる評価結果の給与反映が決定されました。校長が教員の成績をつけ、その成績で教員の給料に差をつけようというものです。教員間に差別待遇を持ち込み、上の方ばかり向いた「イエスマン教員」を作るのが目的です。

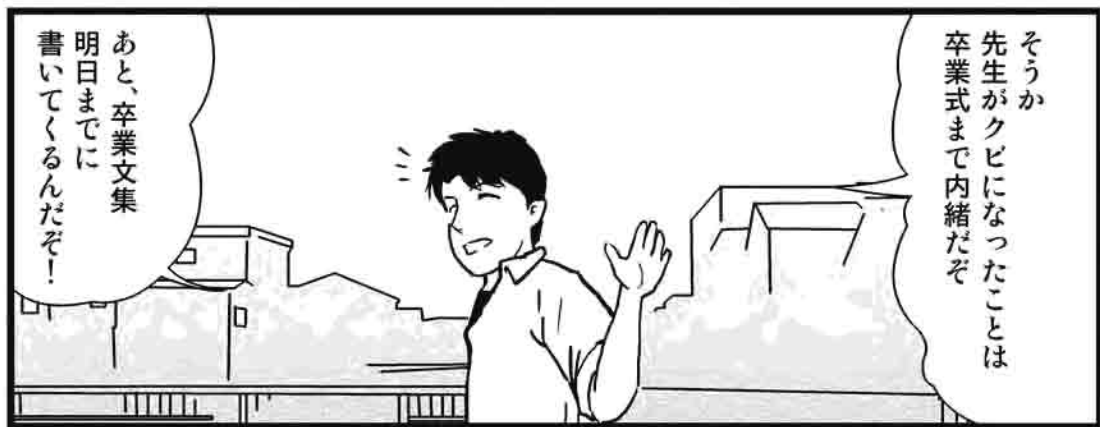
そして自民党は「低成績が続けばクビにするべき」と主張しています。

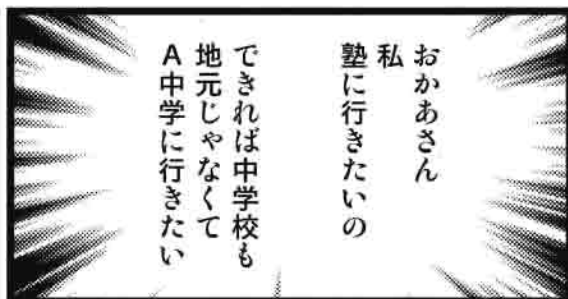
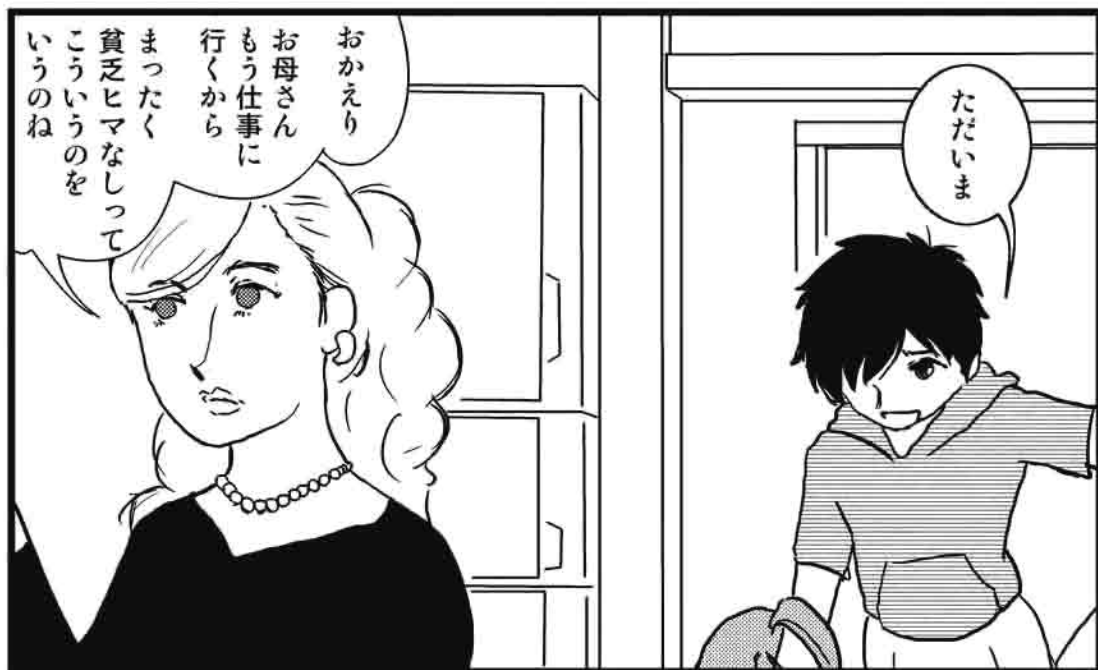
現行の教育基本法では教育は政治権力から独立し「教育は国民に直接責任を負う」となっていますから、この評価制度そのものが法律違反の疑いがあります。しかし教育基本法が改悪されてしまうと、「教育は国家に責任を負う」ことになってしまいますから、上の言うことに従わず生徒のことばかりを考える教員が「ダメ教師」となり、クビにされます。

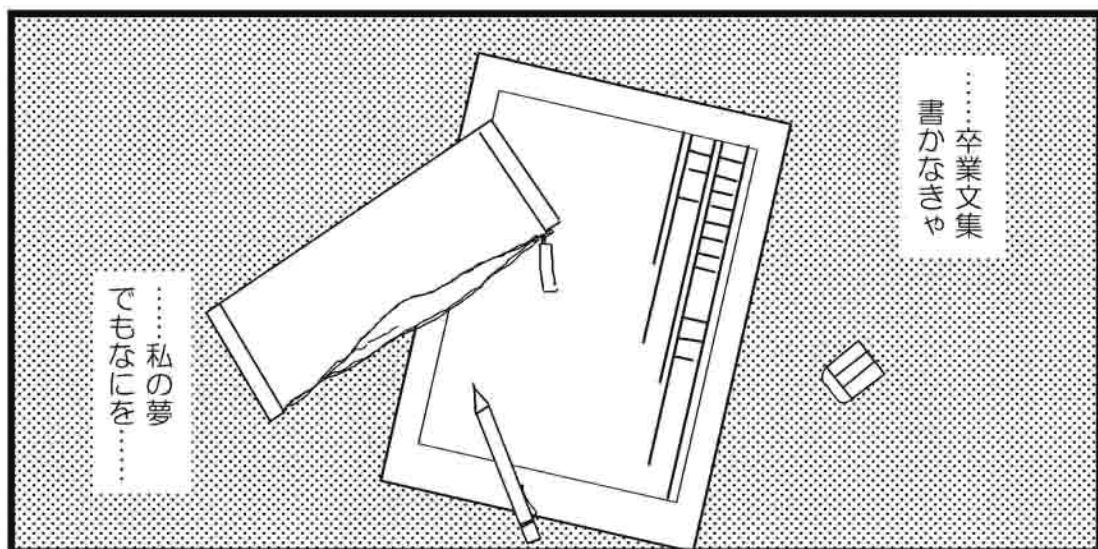
もちろん戦争の悲惨さを教える教員、日の丸・君が代を問題に思う教員も同様です。

教員免許更新制についても同じ目的です。免許の期限を10年とし、そのつど更新させることによって教員の質の向上を図りたいというのがタテマエですが、質の向上が目的ならもっとやりようがあるはずで、そもそも教育の質の向上を問題にするなら、まずは教員の数を増やすべきでしょう。

結局は、政府に従わない教員をクビにしたいだけなのです。







夢ってなんですか。

夢は願ひ続けていれば必ずかなうとか、歌ではいっけねえ

私にはよく分かりません。

私はマンガを描くことが好きだけねえ、マンガなんて
社会の役には立たないし、実際には食べていけないし、
おとなは言います。

私は勉強は嫌いではないけど、得意ではありません。

勉強したくても、家にはお金がありません。

私は一体になぬかですか？

結局私たちは、「能力に応じた」夢しか、
見えてはいけなひのです。



コラム【「能力に応ずる」と「能力に応じた」】

現行法第3条(教育の機会均等)「すべて国民は、ひとしく、その能力に**応ずる**教育を受け
る機会をあたえられなければならないものであって、人種、信条、性別、社会的身分、経済
的地位又は門地によって、教育上差別されない」

改悪案第4条(教育の機会均等)「すべて国民は、ひとしく、その能力に**応じた**教育を受け
る機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によ
って、教育上差別されない」

法律上の文言の違いは「応ずる」と「応じた」だけです。このひらがなたった2文字が違うだけ
で、法律の解釈は正反対に変わってしまいます。

現行法の「能力に応ずる」とは、子ども一人ひとりの発展状況に応じて教育を受けるとい
うことであって、「能力」そのものは無限の可能性を秘めているという考えが基本にあります。

しかし「能力に応じた」というのは、無限の可能性そのものを否定しているのです。

「能力に応ずる教育」とは、成績がよかろうが悪かろうがその子の成長に力を尽くすのが正し
い教育というものです。しかし「能力に応じた教育」であれば、伸びる子だけを伸ばしてやれば
よいのであって、伸びない子は「せめて実直な精神」だけ養えばよいということになります。

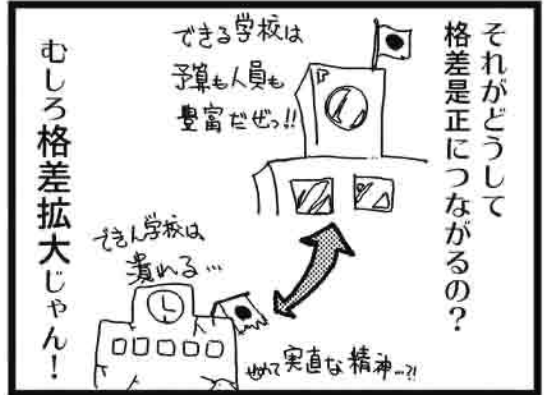
そしてこの新自由主義社会においては、「能力」とは、結局親の財力によることになりま
す。

これが本当に「機会均等」ですか？！



元祖「昭和の妖怪」登場！

バウチャーって?!



教育基本法改悪の最大の目的は新自由主義——つまり今の格差社会に適応した法律に変化させることです。効率的に一部のエリート育成に予算をつぎ込み、総枠としては予算も学校数も教員の数も減らそうというものです。そして露骨な差別待遇では国民がまとまらないから、「愛国心」で縛りをかけることが必要となるわけです。

確かに現実の社会は格差社会です。しかし学校現場に格差を恣意的に持ち込むとは一体どういう事態を引き起こすのでしょうか？

「格差教育」は、子どもに対する人権侵害です。子どもは本来なりたい自分になろうとする権利を持っているはずだし、国や教育行政は子どもの権利を守る義務があるはずです。国家に有用な子だけが子どもなのではありません。勉強が出来る子だけが子どもなのではありません。塾に通えるだけの経済力のある親を持つ子だけが子どもなのではありません。

教育とは子ども一人ひとりの成長や心に寄り添ってこそです。そこに優劣も格差もあってはなりません。

このマンガを執筆中に、安倍政権が誕生しました。「格差は悪くない」と安倍首相は言いますが、格差を子どもたちの間に持ち込むことにより、何が起きるか、彼は真剣に考えたことがあるのでしょうか。受験戦争も就職活動も体験せず、親の敷いたレールだけを走って来た安倍首相に、そんなことを期待する方が虚しいのかも知れませんが。

今、子どもの心の荒廃や学級崩壊が問題となり、それらの原因がすべて教育のせいであり教育基本法さえ変えさえすれば全て解決するかのような風潮があります。

私事ですが、私はいわゆる校内暴力世代で、窓ガラスもなくシンナーの匂い漂う中学校に過ごしました。25年前の「荒廃」「崩壊」を体験した者として、今の風潮には激しい違和感を覚えます。

「荒廃」「崩壊」は決して学校のせいではなく、社会の問題です。子どもは学校の中だけに生きるではありません。「荒廃」「崩壊」をなんとかしたいのならば、まずは格差社会をなんとかすべきでしょう。

今こそ教育基本法の問題が問われています。学校に格差を持ち込むのは、「荒廃」「崩壊」を深化させるだけです。

**教育基本法改悪を
阻止しましょう！
「格差教育」は
子どもの尊厳の否定です！**

2006年10月

おーたからん



アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

<http://www.jca.apc.org/stopUSwar/>

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付

FAX 072-331-1919 TEL 090-5094-9483(事務局)e-mail: stopuswar@jca.apc.org

<カンパ等振込先> 郵便振替 00950-5-178725 米戦争拡大と有事法制に反対する署名事務局